



滋賀の魅力を向上させるまちづくりへの支援

- ▶ コロナ禍を契機に、貴重な屋外空間として価値が再認識されている公園・緑地等の充実を図り、都市の魅力を向上させるための取組への支援を図りたい。

【提案・要望先】総務省、財務省、国土交通省

1. 提案・要望内容

(1) 県の魅力を向上させる都市計画事業の推進

- 5か年加速化対策を活用し、防災公園や街路整備を着実に推進するための支援
- 公共施設等適正管理推進事業債(長寿命化事業)の期間延長と交付税措置率の拡大

(2) Park-PFI 等の民間活力導入に向けた取組への総合的な支援

- Park-PFI 等の民間活力導入に向け、事業化検討、事業者選定、事業実施の各フェーズに応じた総合的な支援の拡充

(3) 都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業の対象拡充

- 公園や隣接する公共施設の利用に支障が生じている樹木の倒木対策として、緊急的な更新(防除や伐木含む)を行うための支援対象の拡充

2. 提案・要望の理由

(1) 県の魅力を向上させる都市計画事業の推進

- 広域拠点となる防災公園やダブルネットワークに資する街路等の都市計画事業を計画的に進め、地域の景気・経済を下支えするため、5か年加速化対策については、当初予算において安定的に確保することが必要。
- 今年度で期限を迎える公園施設の長寿命化事業に係る公共施設等適正管理推進事業債の延長と交付税措置率の拡大が必要。

(2) Park-PFI 等の民間活力導入に向けた取組への総合的な支援

- コロナ禍を契機に、自宅で過ごす時間が増え、ストレス緩和の効果が得られる場所として、また、高まるサイクリングニーズを踏まえたビワイチの休憩スポットとして、緑やオープンスペースの重要性が再認識され、都市公園の役割も高まっている。
- 一方、県営都市公園においては、施設の老朽化が進行しており、厳しい財政状況も踏まえ、官民連携(Park-PFI等)により、新しいニーズ等に対応することが必要。

(3) 都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業の対象拡充

- 公園整備から数十年が経過し、植樹した樹木の老化や、病害虫による被害の拡大など、課題が増加している。
- 特に、白砂青松の景観を形成する湖岸緑地の松林において、近年の頻発化・激甚化する暴風等の気象災害により、多くの枝折れや倒木が発生し、園内や隣接する交通量の多い道路の利用に支障が生じている。

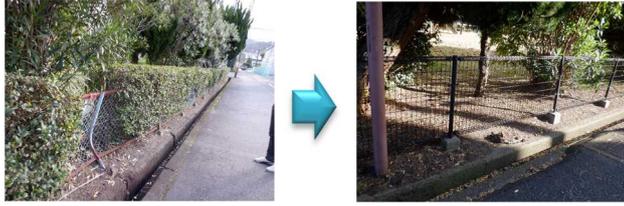
(本県の取組状況と課題)

(1) 安全・安心に資する都市計画事業の推進

【広域防災拠点となる金亀公園】

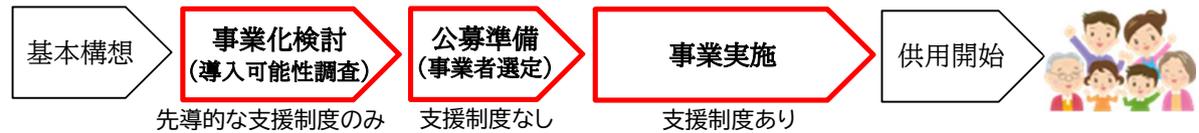


【公共施設等適正管理推進事業債を活用した小規模公園の長寿命化事業】



(2) Park-PFI 等の民間活力導入に向けた取組への総合的な支援

【Park-PFI 等の民間活力導入に向けた流れ】



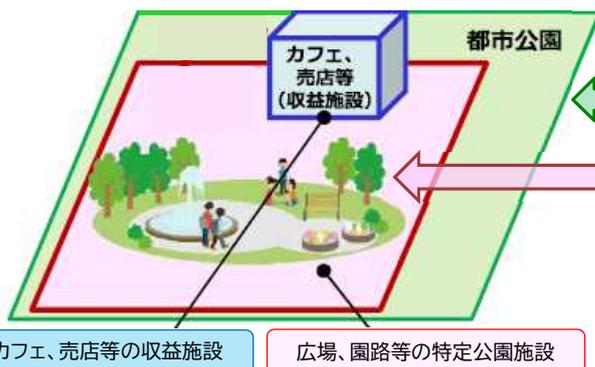
先導的な案件に限られている事業化検討支援の一般化に加えて、Park-PFI 等の事業者選定に係る支援を！【新規】

- ・公募資料の作成
- ・基本協定書(案)の作成
- ・選定委員会運営補助 等

郊外の公園にも民間活力導入(民間事業者の参入)を促すため、Park-PFI に関する支援の充実を！

①Park-PFI と一体的に取り組み周辺整備に対する支援を！【新規】

②Park-PFI を活用した公園施設の整備に対する支援の要件緩和を！【継続/要件緩和】



・これまでどおり、Park-PFI を活用した公園整備に対する支援を！

・また、都市部においては、民間事業者の参入意欲も高いが、郊外部では参入に二の足を踏む事業者が多い状況。

・そこで、郊外部等の人口が少ない地域にあっては、特定公園施設に対する民間投資が1割未満であっても支援いただけるように事業要件の緩和を！

(サウンディングにおける企業意見)

- ・湖辺域の魅力は非常に高いが、季節や天候のリスクがある。 ・もっと公共からの支援があれば、事業参入しやすくなる。
- ・公園の魅力を高めるために、行政側でも周辺整備を行ってほしい。



(3) 都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業の対象拡充

【県営都市公園における主な課題】

大木化や老化に伴う倒木や枝落下、根上がり等による事故リスクの増大

特に湖岸緑地においては、暴風等により、松等が園路や隣接道路へ倒れるなど、利用に支障が生じている状況

公園施設である樹木について、倒木対策として緊急的な更新(防除や伐木含む)への支援を！



【倒木による遊具の損傷】



【倒木による施設の損傷】



【園路への倒木】

担当：土木交通部 都市計画課 都市計画係 TEL 077-528-4182